



平成21年2月18日

各 位



東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
石川島建材工業株式会社

代表取締役社長 岡田 秀夫
(コード番号 5276 東証第2部)
(決算期 3月31日)

問合せ先 財務部部長 土佐 健次
(TEL. 03-5221-7211)

当社の親会社 **株式会社IH I**
代表取締役社長 釜 和 明
(コード番号 7013 東証第1部)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月25日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当通期の業績予想の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結業績の予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	19,100	△700	△740	△1,280	△61 84
今回修正予想 (B)	18,300	△870	△920	△1,270	△61 36
増減額 (B - A)	△800	△170	△180	10	—
増減率 (%)	△4.2%	—	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	11,841	△994	△973	△1,220	△58 93

(2) 個別業績予想

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	19,000	△490	△510	△880	△42 52
今回修正予想 (B)	18,200	△680	△700	△850	△41 07
増減額 (B - A)	△800	△190	△190	30	—
増減率 (%)	△4.2%	—	—	—	—
前期実績 (平成20年3月期)	11,708	△792	△779	△1,017	△49 11

(3) 修正理由

【連結】

売上高につきましては、セグメント事業においては中小口径の導管用資材の製品出荷時期の翌期へのずれ込み、また自走式駐車場事業においては一部の着工遅れ等により、通期売上高 191 億円を 183 億円に修正いたします。

営業利益、経常利益につきましては、主にセグメント事業において、大断面道路用大型合成セグメント（S B L：Steel Beam Lining）の製品量産時における品質対応に起因した費用負担見込額の増加、及びHD（High Durability）ライニング付セグメントにおける製品納入後の施工時に発生した補修費用負担の拡大等に伴う損益悪化により、通期営業利益△700 百万円を△870 百万円に、通期経常利益を△740 百万円を△920 百万円に修正いたします。

当期純利益につきましては、前述いたしました経常利益△180 百万円の悪化に対して、特別損失として見込んでいた支店・営業所の再配置及び本社移転に伴う費用等が約 300 百万円から約 100 百万円に削減された結果、△1,280 百万円を△1,270 百万円に修正いたします。

【個別】

通期の個別業績予想の修正につきましては、前述した連結同様であります。

(注) 本資料に記載してあります業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果になる可能性があります。

以上